



JAPAN HANGGLIDING FEDERATION

# JHFレポート

9・10月号  
2002年

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

<http://jhf.skysports.or.jp/>



フランス、アヌシーの空から、巨大な壁のようにそそり立つ山々を見下ろす。撮影:斉藤雅一



HG世界選手権最終日、ゴールで締めくくった松浦芳樹選手。  
撮影:北野正浩

## この空をいつまでも。

フライトエリアに秋風が立つ。  
澄んだ空のもと自由に飛ばば  
体の全細胞が歓喜する。  
「この空をいつまでも飛びたい」  
のぞみをかなえるのは、あなた自身。  
いつまでも安全飛行を。

JHFレポート 9・10月号

Contents

- P 2 HG世界選手権報告ーシェランから
- P 4 教員検定 こんな教員になりたい
- P 6 **安全講座** 「事故」を正視する。
- P 8 県連だより 福井県フライヤー連盟

- P 9 県連ニュース
- P10 委員会の動き
- P11 理事会ダイジェスト 理事活動報告
- P12 **@sky** 空の楽しさ満載の情報ページ

# ハングライディング世界選手権報告

## シェランから

異常な暑さにも山火事の煙にも負けず、三つのクラス、71人の選手が世界一をかけて飛び競った。

構成協力:岡田伸弘、北野正浩、境卓史  
写真撮影:北野正浩



板垣直樹、ゴール。前回の5位より上を狙って奮闘した。

7月12日から21日まで、アメリカのワシントン州シェラン(Chelan)で、ハングライディング世界選手権が開催された。今回は、クラス(フレキシブルウイング)女子、クラス(フェアードリジッドウイング...スウィフトなど)、そしてクラス(コントロールパーリジッドウイング...アトスなど)と、三つのクラスが同じ場所で世界一の座をかけて飛び競った。日本チームは8名。岡田伸弘チームリーダー、北野正浩アシスタントの強力なサポートを受け、クラス

女子の岡田明子、福田佳代、クラスの板垣直樹、境卓史、松浦芳樹、山本剛の6選手が健闘した(クラスは参加なし)。

8日連続、毎日がスピードレース。

シェランは、1994年7月に第4回女子ハングライディング世界選手権が開かれたところ。標高1169mの山頂からテイクオフし、すぐ東側を流れる川幅200mはありそうなコロンビア川を越え、対岸の標高800mの台地にとりつき高度を上げて、そこからフラットランドを進んで行く。テイクオフから対岸までの距離、約5km。その間は上昇風も望めず、最初の谷渡りが第一の難関となる。特に他クラスの機体に比べ「足がない」クラスの女子選手は、対岸に辿り着いた時にはかなり高度が下がり、上げ切れずに終ることも。

テイクオフポイントはとても広いのだが、3クラスの選手がそれぞれ好きなタイミングで飛び立つわけにはいかず、時間と場所を限って「優先テイクオフ」できるクラスが指定された。しかし、特に風の強い日は女子選手がテイクオフできず、後ろに並んだ他クラスの選手が痺れをきらす場面も。

競技日は13日から20日までの8日間。山火事の影響が心配されたものの、世界一を決

める競技に相応しいコンディションに恵まれ、1日も休まず8本のフライトが成立した。強烈な上昇風が発生し、女子世界選手権の開催地ならそれほどタフなコンディションではないだろうという先入観は、みごと覆された。地獄絵図のような深い谷を彷徨う「我慢比べ」ではなく、選手は飛びそのものに専念でき、スピードレースを満喫することができたはずだ(結果はどうあれ)。

灼熱のテイクオフポイントで頻発するダストデビルを警戒しながらグライダーをセットアップ。12時ゲートオープン。12時30分頃からテイクオフが始まり、14時にテイクオフのピーク。そして14時30分にスタートを切る.....というのが、日々の動き。

タスクはクラスによって異なるが、だいたい同じ空域を使うことが多かった。各クラスのタスク距離は、クラス女子が62.8~128.6kmで、平均88.1km。クラスが96.2~163.7kmで、平均128.1km。クラスは96.2~163.7kmで、平均123.7km。8本のうち6本、クラスとクラスが同じタスクで飛んだ。

抜群の強さ、3人のチャンピオン。

クラス女子は、なんといっても前チャンピオンのカリー・キャッスルが最強優勝候補。鍛えぬかれた長身が疾走、テイクオフしていく姿は実にダイナミックだ。誰もゴールできないような苛酷なタスクの日に唯一ゴールに飛び込んで来るなど、予想を裏切らぬ飛びっぷりで優勝。2位を1631点も引き離してのみごとな勝ちだった。

カリー以上に注目されていたに違いないのは、クラスに出場したマンフレッド・ルーマー。圧倒的な強さで99年イタリア大



日本チーム。左から松浦、境、板垣、福田、岡田、岡田リーダー、山本。



機体をセットアップ。眼下に幅200mもありそうなコロンビア川。

会、01年スペイン大会のクラス 世界選手権を勝ち取った、あのマンフレッドだ。機体が変わっても飛びのすごさは変わらず、8本のフライトのうち5本トップ(3本は満点の1000点)で優勝。「まいりました」というほかない。

そして、クラス。昨夏のスペインで爆発したイタリアパワーは、シェランでも元気いっぱい。前チャンピオンのアレックスandroと2位のクリスチャンが、今回もまさにブッチギリで、お立ち台に上った。3位のデイビッドは前回6位。パラグライダーからハンググライダーに乗り換えて日が浅いが、光る飛びを見せる。次回、イタリアは指定席を守るのに苦労するかもしれない。

日本チームは、クラス 岡田、クラス 板垣と境以外は世界選手権初出場。しかし臆することなく、それぞれ「世界」を相手に全力でぶつかった。成績は華々しいものではないが、8日間毎日飛んだ末の結果だ。日本選手は決して下手ではない。しかし、今回のようなスピードレース、しかも最後のパイロンからゴールまでの最終レグを向い風に設定するようなタスクに弱いことが歴然とした。

ヘッドウインドで練習すべし。

最後まで調子を上げられず本意な結果に終わった境は「日本チームの課題がはっきりしたことはプラスでした」と言う。「日本人は時間をかければゴールできる。でもスピードレースでは、遅くはダメです。日本の条件ではトレーニングが難しいけれど、もっともっと速く飛ぶことを練習しなければなりません。ヘッドウインドで進むトレーニングも必要。普段から『辛い思い』

をして飛ばないとはいけません。それに、集中力が途切れ、詰めが甘い。どんなことがあっても勝つ!という強い意志、前向きな気持ちを持たなければ、オロオロしていたら負けしてしまうんです。」

さて、次回の世界選手権で日本チームはどこまで頑張るだろうか。「どんなことがあっても勝つ」という強い意志の下に。(詳細報告はJHFホームページに掲載中)



最終日、揃ってゴールし笑顔の福田佳代と岡田明子。

「世界選手権は別世界。」

岡田伸弘チームリーダー

例年のない猛暑に襲われたシェラン。炎天下、北野とともに選手を支えた岡田チームリーダーに聞いた。

3クラスと一緒に飛んでどうでしたか。「三つのクラスがヶ所からテイクオフするのは、運営はたいへんだったけれど、競技の面ではよかったです。女子20人だけではレースしにくかったですよね。」

日本チームのときは、いかがでしたか。「日本チーム女子の成績は、だいたいこれくらいではないかと思ったとおりでした。カリーを筆頭に、わりとコンスタントにゴールできるトップグループがいて、日本女子はそれを追うグループ。両者の間には明らかな差がありました。」

タスクについては?

「エリアのスケールが大きくて、オーガナイザーは特に女子のタスク設定に苦労したようです。ある日は1人しかゴールできず、翌日は9割がゴールする、という具合で。」

強く感じたことは?

「初めて世界選手権を経験して、日本の大会とはまるっきり違うと感じました。日本のパイロットは技術的には上手い。でも、向かい風で飛ぶ練習をする必要があります。それと、日本チームは機体の破損はありましたが、誰も怪我や病気をせずに最後まで飛べて、本当によかった。負傷した選手を閉会式で何人も見て、そう思いました。問題といえば、無線機のトラブルには困りました。選手の安全にもかかわるので、無線機の故障対策も今後の課題の一つですね。」

(文中敬称略)

## 成績

### クラス (フレキシブルウイング) 女子



[個人] 参加20名

- 1位 CASTLE Kari アメリカ 6723点
- 2位 VASSORT Claire アメリカ 5092点
- 3位 KHAMLOVA Natalia ロシア 4941点
- 10位 岡田 明子 12位 福田 佳代

[チーム] 参加7カ国

- 1位 ドイツ
- 2位 アメリカ
- 3位 フランス
- 4位 日本

### クラス (フェアードリジッドウイング)



[個人] 参加10名

- 1位 RUHMER Manfred オーストリア 7267点
- 2位 HAMILTON Robin イギリス 6770点
- 3位 PORTER Brian アメリカ 5870点

[チーム] 参加5カ国

- 1位 イギリス
- 2位 アメリカ
- 3位 オーストリア

### クラス (コントロールバーリジッドウイング)



[個人] 参加41名

- 1位 CIECH Christian イタリア 6712点
- 2位 PLONER Alessandro イタリア 6487点
- 3位 CHAMET David フランス 6476点
- 11位 板垣 直樹 34位 山本 剛
- 38位 松浦 芳樹 39位 境 卓史

[チーム] 参加9カ国

- 1位 イタリア
- 2位 スイス
- 3位 アメリカ
- 8位 日本

グランドハンドリングの検定。受検者の多くが手こずる。



# 教員検定

## JHF教員研修検定会の報告

2002年6月3日～7日の5日間、教員検定会が開かれました。茨城県新治郡八郷町のNASAフライトエリアでハンググライディング教員検定、同じくエアパークCooでパラグライディング教員検定、茨城県真壁郡真壁町の国民宿舎つくばね、真壁町町営体育研修センターで学科研修が、それぞれ行われました。この検定会は、JHFの規程に基づき、ハンググライディング教員技能証及びパラグライディング教員技能証を取得しようとする者に対し、指導と研修を行

うとともに教員技能証の申請に係わる検定を目的として行われるものです。

今回の受験対象者は、2001年6月30日以前にハンググライディングまたはパラグライディングの助教員技能証の交付を受けた者であり、JHF技能証規程で定める教員技能証の申請資格要件を2002年6月30日までに満たすことが明らかな者です。

今回の検定会の様子について、JHF教員研修検定委員会の小野寺久憲委員長にお話を伺いました。

### 検定と研修について

検定は、技能証規程に基づいて、飛行実技検定、教習実技検定、学科検定の3つの科目について行いました。研修の具体的な内容は、参加者の皆さんが実際に教員技能証を取得されて教員活動を行っていくうえで特に安全管理上必要な研修、例えば、出血などリアルなメイクを施した人をモデルにして実際の救難救急方法を学ぶこと、あるいは木の上に不時着してしまった場合、木に登り色々な道具を使ってパイロットを安全に確

## 「こんな教員になりたい」

——— 教員検定合格者の3人に聞きました。



山下 慎吾(やました しんご)

学生の時に茨城県の「S.E.T.茨城」で講習を受けハンググライディングを始めましたが、途中でパラグライディングに転向しました。以来すっかりはまってしまい、パラを仕事に。パラグライダーの輸入販売を行う「ジェネス」に入社後は、営業のかたわら数々の大会に出場し好成績を収めています。関東エリアで飛ぶ学生フライヤーにとっては、最も身近な兄貴的存在ではないでしょうか。

### 教員検定を受験された動機は...

勉強ですね。教員検定は勉強のために受験しました。インストラクションが専門ではないので、特にその資格を使って誰かに技能証を発行しようというのは無いんだけど、パラを仕事にしているので勉強のために受験しました。

### 教員検定についての感想を。

いつもインストラクターをやっているわけではないから、現場経験があまり多くないので戸惑うことが多かったです。

### 教員資格をどのように活用しますか。

パラグライダーを売ったり、色々なサービス、点検、マニュアルの作成などが僕の仕事なのですが、そういった中で、今回の検定で得た知識を生かすことが出来ればいいと思います。

### 皆さんに一言。

フライト技術を教えることも大切なんですけど、僕はパラグライダーの楽しさ、面白さを伝えられたらいいと思っています。仕事から、色々なエリアを訪れることが多いので、そのときはヨロシクお願いします。



植田 明美(うへだ あけみ)

茨城県の「エアパークCoo」に勤める、飛ぶことが何より好きなパラグライディングのインストラクターです。兵庫県の「関西パラグライダーズスクール」で飛び始め、パイロット証取得後、4年前からコンペティターを目指してCooで飛び始めました。最初の2年間くらいは毎日フライト。飛びながらスクールの仕事を手伝っているうちにインストラクターの仕事に魅力を感じるようになり、教員を目指しました。

実に地上に降るす方法を学びました。

今までの検定研修会は、時間的な制約の中で夜遅くまで講習をしていた経緯がありますが、何度かそんな検定会を行って来て、受験者から夜遅くまでの講義はあまり意味がない、とても疲れる、日数の経過に伴い精神的プレッシャーが積もってきてとても大変だ、という意見をいただき、今回は初日に、教員としてあるべき姿、あるいはJHFの抱える問題、教員活動を行う上で注意しなければならぬこと等を座談会形式で討論する以外、夜の講習をほとんどやめ、日中に集中的に検定研修を行いました。

検定会を終えて

参加者はハンググライディング2名、パラグライディング15名、研修のみ1名。合格者はハンググライディング1名、パラグライディング7名。合格率は47パーセントでした。

可否については、合格する方は、ほぼ満点に近い非常に高い成績で、不合格の方は合格基準の正答率7割を大きく下回る5割に満たない正答率で不合格になっています。つまり、合格者と不合格者の間には、すべての面について非常に大きな差があります。これは教員の監督のもと助教員活動を行って教員検定を受検する際に、もちろん本人の問題もあるでしょうが、それをフォローすべき担当教員や組織との教育格差があるのではないかと非常に強く感じました。こ



樹上不時着のフライヤーを安全に降るす方法を学ぶ。

の格差を少なくすることが合格率の向上につながるとおられます。教習検定委員会としても、より高い合格率を得られるように、対策を練っていきたくて考えています。

教員志望者のみなさんへ

教員検定だからといって検定内容が特別難しいものではありません。要求するレベルはパイロット証レベルです。飛行技術においてもやることはパイロット証レベル、具体的にはグランドハンドリング、テイクオフ、ピッチング、ローリング、パラグライディングなら翼端折りとアクセレーターの併用、30～40パーセントの片翼潰しでの飛行・回復、着陸進入、着地です。教員としては、教育する時にその科目をやって見せて、講習生にやらせることが基本なので、やって見せる技術、展示飛行の技術が要求されます。難しいことではないですが確実にでき



顔色青く迫真のメイクを施したモデルに救急処置を。

ることが必要になります。

受験者の多くの方がてこずるのがグランドハンドリングです。これは受検前に練習すれば明らかに合格レベルまでもっていくことは可能ですが、飛行にかかわらない技術であるが故に疎かになりやすい傾向にあります。その結果、グランドハンドリングで悪い評価を得る人が多くなっています。今後、教員検定を受けようと思っている方は、グランドハンドリングをしっかりと練習し、飛行科目については講習生に見せられるように、講習生に見てもらえるような展示飛行を行えるようになっておくことが合格へつながると思います。

学科試験については、パイロット証学科試験に要求される内容とほとんど同じです。より高度な知識は要求していません。違う点は、パイロット証学科試験では択一式であったものが、教員検定では記述式になるということくらいです。パイロットとして必要な知識を確実に理解し覚えていることが要求されます。

来年も多くの方が参加され、合格されることを願っています。

今回の検定会の感想を。

んー、難しかったです。難しくて、厳しかったですね。検定の1ヶ月前くらいから、ずっと朝練してました。グラハンスラロームとか、ローリング、ピッチング、講習実技を朝早くスクールに来て練習して、その成果が結果にあらわれて良かったです。

どんな教員になりたいですか。

スクールの公認インストラクターの皆さんの教え方がとても上手なんです。やっぱり、その皆さんの上手なところを最初は真似して、将来的には氣象を目で読み取れる確なアドバイスが出来るようになって、講習生がスランプに陥った時に、一緒に考えて教えていけるようになります。今も講習生それぞれの技能に応じたアドバイスをするように心がけています。女性なんで、細かいところまで心配りできると思うんですよ。きちんと心配りできるインストラクターにもなりたいですね。

講習生にひとこと。

検定前に、講習生の皆さんに教習実技を見て聞いてもらったり、すごく助けてもらったんですよ。ホントに感謝しています。これからその皆さんに講習を通じてお返ししたいと思います。講習バーンでは楽しく講習しましょう。



砂間 隆司(すなま たかし)

大学2年生の時にハンググライディングに出会い、主に茨城県の足尾を拠点に飛び回っていました。大学卒業後、一般企業に就職。しかし自分のやりたいことを見つめ直した時、フライトへの情熱を捨てきれず、1年半で退社。大会に出ながら「スポーツオーパカイト」のスクールを手伝い始めました。2001年4月よりオーパのインストラクターとして活動しています。

検定会の感想を。

ハンググライディングの受講生が2名と少なかったため、田中栄一講師から基本技

術を徹底的に教えていただき、得るものが多かったですね。ただ、検定会を受けるのに受験者の経済的負担が大きすぎるように思いました。JHFで教員検定の予算を増やしていただき、受験者の負担を減らしてもらえたらと思います。

目指す教員像は...

いつまでも謙虚な姿勢で人の話を聞けるインストラクターになりたいですね。

どんな教え方を心がけていますか。

講習生の立場になって考えながら教えています。できるだけ分かりやすく教えたいと思っています。

講習生にひとこと。

ハンググライディングはリスクを伴うスポーツです。練習生の方は無理をしないで楽しく長く楽しんでください。飛ぶことが好きで向上心があれば必ず上達します。

2002年教員検定合格者

- [パラグライディング]
- 宮田 歩(茨城県) 篠崎 豊(栃木県)
- 小川 勝良(長崎県) 植田 明美(茨城県)
- 山下 慎吾(埼玉県) 恩賀 雅義(和歌山県)
- 金田 英樹(大阪府)
- [ハンググライディング]
- 砂間 隆司(茨城県)

# 「事故」を正視する。

空を飛ばすスポーツはエキサイティングだ。  
本来翼を持たぬ身が広い空間を自由に飛びまわる。  
その息が詰まるほどのおもしろさ！  
しかし一歩間違えば生命にかかわる。  
安全飛行を続けるために  
「なぜ事故を起こすか」を考えよう。

7月末の時点で今年は既に死亡事故が8件発生している。毎月1人以上が亡くなっているペースだ。なぜこのような重大事故を起こすのだろうか。

私たちは空を飛ぶことに慣れてしまっているのではないだろうか。危険への意識が薄れているのではないだろうか。空を飛ぶことは、楽しさとリスクが常に表裏一体ということ、私たちは決して忘れてはいけない。「簡単に飛べる」と「安全」は、イコールではないのだ。

これから上げる事例は、事故当事者たちの貴重な体験談です。誰もが事故を起こす可能性を持っています。初めて地上から足が離れた時のこと、大空に羽ばたいた時の感動を思い出し、これらの事例を自分のフライトと重ねて考えてみましょう。

## 事故体験 - 12のケース

HG:ハンググライダーリング PG:パラグライダーリング  
P証:パイロット技能証 NP証:ノービスパイロット技能証

### ケース1 HG P証 飛行経験5年

前線が通過するとの予報であったが、天候を見ながらフライトをしていた。900mほどで雲底。そのまま雲の中に吸い込まれた。降りようにも強烈な上昇風で降下しない。そのままコンパスを見ながら南に向けて4~5kmほど飛び、雲の切れ間を探した。雲から脱出した時は高度1500mだった。雲から出た時、周りには見るからに怪しい雲。30秒ごとに四方で稲光。やばいと思わずにランディング。意外と冷静だった。降りた途端に突風と雹。もしあのまま飛んでいたら、無事には済まなかった。

### ケース2 PG NP証 飛行経験2年

パイロット検定のフライトの時だった。普段と異なる風向きのせいか、周囲の稜線より高度が下がると全くの無風となり、沈下が増した。これではランディング場に届かないと判断し、アウトサイドランディングできる場所を探した。すぐに約50m四方の空き地を発見。高度処理しファイナルアプローチに入った。高度30mほどになって、空き地の手前西側にバン車両が駐車してい

るのに気付いたが、何とかかすめて着地できると判断。さらに高度を5mまで上げると、車両の陰で幼児連れの家族が携帯コンロで料理をしていた。もしキャンピーが炎上すれば、家族連れに被害を及ぼすと判断し、空き地脇の道路に降るそうと進路を変更。ところが左翼端が道路脇の電線に接触し機体が左90度振られ、道路脇の金網フェンスに突っ込んだ。瞬間的に受け身をとったが、肋骨を折ってしまった。もし手足から突っ込んでいたら、もっと大きな怪我になっていたであろうし、弾力性のある金網フェンスでなくブロック塀であったら生死にかかわっていたであろう。

### ケース3 PG P証 飛行経験5年

その日2本目のフライトだった。ほとんど上昇を期待できないため、早めにランディング場へ向かった。ランディング場上空に適正高度で進入したが、強めのグラウンドサーマルに遭遇。再上昇し始め、そのままではアウトサイドランディングか木に引っかかる状況になった。ブレークコードを引き込みハーフストールをかけながら、ランディング場脇の雑草地に降りた。ところが、右足から力が抜け後ろに転倒してしまった。なぜそうなったか分からず、足下を見ると隠れ岩があった。右足首の骨を固定するボルトを入れる手術を受け、杖なしで歩けるまでに半年以上かかった。ランディング場所の状況をきちんと下見しておけば良かった。

### ケース4 PG P証 飛行経験15年

思いもよらぬ強烈なサーマルで雲に吸い込まれそうになり、Aストールをして降下していた。地上30m付近になったとき、キャンピーが回復しきらずそのままスピンに入った。スピン直後に機体はすぐに回復し、無事にランディングすることができたが、もう少しでも回復が遅ければ地面に激突していた。

### ケース5 PG P証 飛行経験14年

強風時にアクセルを使用して飛んでいた。徐々に風速が上がり、アクセルを使用しているにもかかわらず、10km/hほどでバツ

クする。地上付近でフロントからキャンピーが潰れ、その後スピンに入るも回復。バックしたまま後ろ向きでランディング。もう少し後ろに降りていたら、住宅街に突っ込んでいた。

### ケース6 PG P証 飛行経験1年

パイロット技能証を取りたての頃、リッジソアリングをしていた。もうそろそろ降るそうと山肌を離れ、前にはじめた。日差しも強く、サーマルもゴツゴツと出ている状態だが、荒れているというほどではなかった。樹木の上、高度30mほどを飛行していた。気を抜いていた訳でもないが、突然右翼端が半分ほど潰され、そのまま右に旋回をしながらきりもみ状態で樹木の中へ落ちた。この時はなにもできず、ただ両腕で顔を覆っただけ。幸いにも体は木々の間をすり抜け、かすり傷さえ負わずに済んだ。もし落ちた場所に木がなかったら……あと2mほど木が低かったら間違いなく地面に叩きつけられていた。

### ケース7 HG XC証 経験年数11年

海外で大会に参加していた。競技中に積乱雲が発生し、他のパイロットは皆降りていたにもかかわらず、ゴール方向へ向かう積乱雲の横を飛んでいた。対地高度5000mほどあり、ましてや積乱雲の横はリフト帯になっていることもあって、「楽にゴールできる。それにトップスピードだったら積乱雲に捕まることはないだろう」と思い、そのまま飛び続けた。が、考えが甘かった。突然バレーに沿って進む積乱雲からダウンバーストが起こり、地上付近のホコリを巻き上げるガストフロントが見えた。途端に積乱雲の移動スピードが上がった。高度が下がり始め、地上付近まで降下すると、ますます風の勢いは上がった。対地速度100km/hほど出ていたであろうか。なんとかゴールカットをして、降りようと機首を風上に向けるが、バックしていくありさま。この状況を見ていた他のパイロットが車で追いかけて、ランディングのサポートしてくれた。もし、誰も気がつかず、ひとりでガストフロントの中を降りていたなら、姿形がなくなるほど転がり続けたと思うとぞっとする。

### ケース8 PG XC証 飛行経験4年

初めて乗ったメーカーのグライダーでソアリングをしていた。穏やかなコンディションで1時間ほど飛んだ頃だった。突然右翼端が潰れるが、高度も300mほどあったので、余裕で回復させられると思い、旋回に入らないようにと左を少しおさえた。すると、そのままグライダーは失速に入り、緩やかに右に旋回しながら回復する間もなく木の中へ。今まで乗っていたグライダーとはあきらかに特性が異なり、操作方法にミスがあったと思われる。幸い立派な木々に引っかかり怪我をせずに済んだ。

### ケース9 PG XC証 飛行経験4年

友だちにライン交換を頼んだ。確認すれば良かったのだが、Aライザーの内側のボトムラインと外側のボトムラインが間違っただけで付いていた。立ち上げをした時は気付かず、そのまま離陸。全加重がかかった時から翼がきちんと開かず、バサバサとキャノピーの1/3ほどがたなびく状態。どこかラインが絡んでいたのかと、何度も頭上のラインを確認するが、絡んでいる様子が見えない。風は割と強めで、ブレークコードを引くと一旦は回復するが、まったく前に進まない。かといってフルグライドにすると、キャノピーはまともな形にならない。なす術もなく、そのままズブズブと谷の中へ吸い込まれていった。高度はぐんぐんと下がり、木々

のすぐ上すれすれを飛び、もうだめだと思った時にフルブレークで山沈した。

### ケース10 PG XC証 飛行経験5年

大会中の出来事。先頭集団からかなり遅れ気味でパイロン付近に到達。その後、リターンしようとする、無線で競技キャンセルとの連絡が入る。高度は1000mほどで、風も穏やか。なぜキャンセルになったのか分らないでいた。とにかく眼下の河川敷に降りようと上空でホバリングしていた。徐々に高度が下がり、ふとランディングしようとしている河川敷に眼を向けると、なぜか真下にあったはずの河川敷が前方に位置している。GPSでは15km/hを示しており、おかしいなあと思いつつももう一度GPSを見ると、バックで15km/h出ていた。高度が下がるにつれて、風の勢いは増していく。慌ててフルアクセルするが、どんどん後ろに下がる。もう降りる場所は葡萄畑しかないと思っていると、対地高度5mほどで急激に前に出て、猫の額ほどの空き地に無事に降りることができた。

### ケース11 PG XC証 飛行経験6年

ベストなコンディションだった。サマルも3~5m/sほどのものがいたところがあり、尾根から尾根へと渡り、谷を越えて調子よくフライトしていた。大きな谷を渡るうとしていた時だった。高度2000m以上はあったらどうか。高度も充分にあることが

ら、ハーフアクセルでグライドしていた。が、突然左翼端が潰れた。アクセルを緩め、旋回を止めるべく右を抑えるが、ゆっくりとキャノピーがタッキングを始める。抑えが足りなかったのか、突然目の前でキャノピーがクルクルと回転をし、ラインツイストをしてしまった。両方のブレークコードを引き、通常滑空に戻るが、後ろ向きになってしまう。ツイストを直そうとライザーを広げ、体をひねった瞬間にフロントコラップスに入る。一瞬自由落下状態になり、ラインテンションが戻った瞬間にラインツイストしたままスパイラルダイブになった。高度はあったが、もうなにもできないと判断し、レスキューを投げて助かった。

### ケース12 PG XC証 飛行経験7年

風が強く大荒れのコンディションだった。通常滑空をしていると、突然クシャッとキャノピーが形を失い、自由落下状態になった。キャノピーの一部が回復したのか、ものすごい早さでフロントタッキング。抑えきれず、そのままキャノピーが自分よりも下の位置までいく。テンションが抜け、再び自由落下する。ラム圧を失ったキャノピーはヒラヒラと自由落下する自分の目の前をかすめて頭上に戻り、再び強い衝撃とともに回復。もしキャノピーもしくはラインの一部が自分に引っかかっていたら……想像もしたくない。

## もう「犠牲」は要らない。私たちは十分に学んできたはずだ。

今年は7月末までに実に8人が、動力付きを含むハンググライダー・パラグライダーのフライト中に死亡している。以下は、安全性委員会が作成した「事故概要」の死亡事故を短くまとめたものだ。これらの事故はあなたと無縁ではない。

#### パラグライダー

2月11日(月、建国記念日)13:30頃 / 茨城県岩瀬町高峰エリア / 晴れ、風速? / 48歳、男、PG-XC証、飛行歴? / 着陸進入時に突風を受け、高度約20mから落下。骨折、肺挫傷、呼吸不全。 / 最終旋回時に翼が潰れ、スピンに入って墜落。

#### パラグライダー

2月16日(土)12:15頃 / 鹿児島県根占町西原台 / 快晴、風速3~5m/s / 44歳、男、PG-A級、飛行歴6ヶ月 / 離陸が成功せぬまま、山の斜面を転がり舗装道路に転落。頭部損傷、重体、2日後に死亡。 / 一旦は離陸したが、ハーネスが地面と接触したためキャノピーが不安定となり、再離陸を試みたが失敗。

#### 補助動力付きハンググライダー

3月10日(日)14:04頃 / 茨城県大洗町 / 晴れ、風速2m/s / 39歳、男、PG-Pw証、飛行歴20年 / 旋回から回復せず地上の自動車に衝突。胸部大動脈損傷。 / 高度150mで飛行中、左舷への傾きを修正したところ右旋回に入り、2.5回転

して駐車していた車の前部フェンダーで胸部を強打。

#### ハンググライダー(リジッド)

4月3日(水)15:13頃 / 福島県滝根町仙台台エリア / 晴れ、風速3~5m/s / 47歳、男、HG-XC証、飛行歴15年、500時間 / 右翼が立木に接触し落下。頭蓋骨多発骨折、脳挫傷。 / 約2時間の飛行後、着陸場に向かう途中、尾根越えが不可能となり緊急着陸を試みたが、杉の木に右翼を引っ掛け道路に落下。

#### パラグライダー

5月25日(土)13:15頃 / 静岡県函南町丹那エリア / 晴れ、風速=4m/s(サマルコンディション) / 48歳、男、PG-XC証、飛行歴約11年 / 翼の潰れにより墜落。 / 離陸後間もなく片翼が半分ほど潰れ、高度7~8mから2回転して落下。

#### ハンググライダー

6月2日(日)14:00頃 / 新潟県寺泊町弥彦エリア / 晴れ、風速=5~7m/s / 55歳、男、HG-B級、飛行歴=22年 / 山の斜面に激突。 / 約1時

間の飛行後、ランディング場へ向かう途中で視界から消え、無線も途絶。標高355mの道路脇コンクリート斜面に墜落しているのを発見された(事故の直接目撃者なし)。

#### パラグライダー

6月8日(土)11:40頃 / 宮城県仙台市泉が岳エリア / 晴れ、風速=4m/s(サマルブロー) / 56歳、男、PG-P証、飛行歴? / テイクオフ前方30mの斜面に激突。骨盤骨折、胸部骨折、出血多量。 / 離陸直後に左翼が半分潰れ1回転し、一旦は回復しかかったが、さらに右翼が潰れ右に回転しながら斜面に激突。

#### 動力付きパラグライダー

7月21日(日)13:40頃 / 福岡県周防灘 / 天候? 風速? / 41歳、男、PG-XC証、PG-Pw証、飛行歴? / 海上に着水、溺死。 / キャノピーを装着したまま浮いているのを釣り人により発見された。事故者は常に単独で飛行しており、当日も同行者はいなかったため、事故に至る詳細は不明。また、機材がJHFの規定する補助動力機に該当するものかどうか不明。

スキージャム勝山エリアからテイクオフ。

県  
連  
だ  
よ  
り



美しい自然のなかでフライトを満喫。

福井県フライヤー連盟  
事務局 高田 昌平

福井県の特徴

福井県は昔から「越山若水」といわれ、越前の山並みと若狭の美しく清らかな水に恵まれた地です。日本海沿岸の中央に位置し、古来大陸文化の窓口として、また東北・北陸から京に通ずる要衝の地として発展してきました。福井県の気候の特徴が顕著に現れる冬期は、北西の季節風により気温が低く、曇りや雪の降る日が多く、フライト確率は悪くなります。一方、夏期は全国的にみても日照時間が長く、降水量も少なめと、フライトには適した季節となります。

エリア紹介

スキージャム勝山エリア( PGのみ )

T.O.西向き: 高低差340m

ビジターフライト技能: N P証以上

ビジターフィー: 1日1,000円

( 初回のみ1,500円 )

年会費: 10,000円

県内でもっとも多くフライヤーが飛んでいるエリアで、ジャムスポーツパラグライダーズスクールが管理しています。冬季スキー場となる期間( 12月~4月上旬 )はエリ



スキージャム勝山エリアの講習バーン。

アクロースとなります。西メインのエリアですが、サーマルが出ると南よりの風に変わります。テイクオフしたらすぐ左( 南側 )に流していけば、自然にサーマルにあたるでしょう。このルートがランディング場に向かうコースでもあるため、経験の少ないパイロットの方も無理なくフライトすることができるはずですし、サーマルの豊富さと空域の広さでベテランパイロットも十分満足できるフライトエリアでもあります。昨年よりレッグベルト締め忘れ機能がついたハーネスでなければフライトできませんので、ご注意ください。スキージャム勝山はスキー場を中心にホテルやレストラン、天然温泉などいろんなアトラクションが整っているため、飛んでも飛べなくてもリゾート気分を満喫できるのも魅力の一つです。

若狭エンゼルフライトエリア( PG・HG )

T.O.南向き: 高低差400m( PG )

600m( HG )

ビジターフライト技能: P証以上

( 教員同伴であればB級以上可 )

ビジターフィー: 1日2,000円

小浜は「海のある小京都」と呼ばれており、



眺望抜群の若狭エンゼルフライトエリア。

旧市街は昔ながらの町並みを残し、神社や仏閣があちこちに点在しています。そのすぐ近くにあるのが、若狭エンゼルフライトエリアです。PG・HG併用のエリアで、久須夜岳中腹( 400m )にPG、山頂( 600m )にHGのテイクオフポイントがそれぞれあります。小浜市街を眼下に見下ろすロケーションは抜群です。来年3月には近畿自動車道・敦賀線の小浜西ICが開通することなど、他県からのアクセスがますます便利になります。

福井県連の活動

福井県連では毎年ゴールデンウィーク前に安全講習会を行っております。今年度はツリーラン講習を計画しておりましたが、当日あいにくの雨で開催できず、現在延期中です。4月29日には地元スクールのジャムスポーツパラグライダーズスクール協力のもと、パラグライディング無料体験会を行いました。当日、天気は良いものの強めの風が吹きましたが、細心の注意を払いながら、スタッフのおかげにより、約30名の方に楽しんでいただく事ができました。また、5月12日にはパラグライディング日本選手権の予選会を兼ね、福井県選手権を予定しておりましたが、曇天のコンディションの為、8月に延期となりました。10月には教員研修会、助教員検定会、タンデムパイロット学科検定会を予定しております。

福井県連への問い合わせは下記まで。

TEL.&FAX.0779-87-6311

( 有 ) ジャムスポーツ内 県連事務局



# 県連ニュース

## 宮城県ハンググライディング連盟

[ 県連事務局変更のお知らせ ]

県連事務局が以下に変更になりました。  
新事務局: 〒981-0952 宮城県仙台市青葉区  
中山5丁目6-8 佐々木裕行方  
TEL & FAX: 022-278-1145  
E-mail: hiro\_amt@ma.mni.ne.jp

## 福島県ハンググライディング連盟

[アウトドアスポーツフェアに参加]

8月3日・4日に「第7回全国アウトドアスポーツフェアinふくしま」が開催されます(このレポートの発行時には終了)。

「自然に学び、遊ぶ」をテーマに県内の9団体と15種目のアウトドアスポーツを紹介し体験してもらいイベントです。福島県ハンググライディング連盟も福島県体育協会加盟により、委託され、県営あづま総合運動公園でミニ体験教室を行うことになりました。報告は次号で。

## 栃木県ハング・パラグライディング連盟

[ 気象講習会の報告と助教員検定会予定 ]

去る7月7日、宇都宮東コンセーレにおいて、栃木県ハング・パラグライディング連盟主催の気象講習会が開かれました。

気象予報士でありフライヤーでもある内藤邦宏氏が、講師としてわざわざ千葉県から来てくださいました。内藤氏は教員検定会講師でもあり、全日本や世界選手権でも気象予報チーフとしても活躍しているので、お世話になった方も多数おられるでしょう。

内容は地域に密接したものとなり、栃木県ならではの風の流れ方、予想を立てる時の順序、予想ずれによるフライト対策の考え方などの話がありました。

会場には初心者からF1リーグ選手まで約60名のフライヤーが集まり、熱心にメモを取る姿が見られました。終了後も盛んに質問をする光景もあり、せっかくのチャンス逃すまいとするその姿は、飛ぶことに対する積極的な態度の現れであると感じました。

8月31日、宇都宮市赤岩山でパラグライディング助教員検定会が開かれます。詳細は県連事務局にお問い合わせください。

TEL.0287-64-4779 [ 記:塚部 省一 ]



参加者の熱心な質問に答える内藤講師。

## 埼玉県ハング・パラグライディング連盟

[ 県連総会の報告 ]

埼玉県ハング・パラグライディング連盟の総会を7月14日に開催し成立しました。2001年度の事業報告と収支報告・2002年度の事業計画案と予算案・新役員選出選挙を審議した結果、全ての案件について承認と信任を受けました。

新役員は以下のとおりです。

理事長:立澤一男、関光義  
副理事長:細田亮三、渡辺竜幸  
事務局長:長島信一

理事:坂井隆夫、塩野富士雄、根岸勝世、細田亮三、宮武正之、関光義

監事立候補者がいなかったため、総会決議で今年度に限り理事会に監事任命権を与える事になりました。「フライヤーのための県連」として活動を進めていきたいと思っております。 [ 記:渡辺 竜幸 ]

## 愛知県フライヤー連盟

[ 代表者・事務局変更のお知らせ ]

県連代表者が宮川雅博に代わり、県連事務局が以下に変更になりました。

新事務局: 〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町  
大字高雄字畑尻164

TEL:0587-93-5111 FAX:0587-93-5410

E-mail: aff@owari.ne.jp

## 三重県フライヤー連盟

[ 県連事務局変更のお知らせ ]

三重県フライヤー連盟の事務局が7月7日付けで下記住所に変更になりました。

新事務局: 〒510-0945 三重県四日市市高花  
平5-1-41 河村博文方

TEL & FAX: 0593-22-7508

E-mail: matazaim@cty-net.ne.jp

[ 記:鈴木 博司 ]

## 滋賀県フライヤー連盟

[ 伊吹山フライトエリアよりお知らせ ]

滋賀県の北東部に位置する伊吹山フライトエリアは、京都、大阪、名古屋方面からのアクセスも良く、週末は大勢のフライヤーでにぎわっています。当エリアでは、事故防止の観点からエアリアルールの改訂を進めており、本年度より次の2点を実施しておりますので、ここにお知らせします。

- (1) 飛行対象をパラグライダーのみとする
- (2) レッグベルト締め忘れ防止装置の装着の義務化

## 香川県ハンググライディング連盟

[ 代表者・事務局変更のお知らせ ]

県連代表者が城下晃一に代わり、県連事務局が以下に変更になりました。

新事務局: 〒760-0080 香川県高松市木太町  
4区2153-1 城下晃一方

TEL:087-834-1186 FAX:087-834-1108

E-mail: shiroshita@mx8.tiki.ne.jp

## 大阪府フライヤー連盟

[ 県連事務局変更のお知らせ ]

県連事務局が以下に変更になりました。  
新事務局: 〒533-0011 大阪府大阪市東淀川区  
大桐1丁目8-17-207(関西PGS内)  
E-mail: osakafly@abox7.so-net.ne.jp

## 愛媛県ハンググライディング連盟

[ 五十崎パラグライダーカップにご参加を ]

開催日: 2002年10月26日・27日( 予備日 )

開催地: 愛媛県五十崎町

募集人員: 来るもの拒まず

参加資格: B証以上で教員推薦者

参加費: 3,000円

無料屋台たこやき豚汁等ありますので、ぜひお越しを!

問い合わせ: ウィンドバルESD山野好喜

TEL.089-971 - 3190

http://homepage1.nifty.com/ESD/

[ 記:宮西 亜希子 ]

[ 空から祝福、新郎の父飛び! ]

5月29日、双海エリアのランディング場でもある双海シーサイド公園の砂浜で、結婚式が行われました。新郎の父はパラフライヤー。そこで、空から祝福しようと10名のフライヤーが集まりました。当日は絶好の結婚式日和。式を終え、モーニングからフライトスーツにお色直しした新郎の父を先頭に、皆次々とテイクオフ。約120名の招待客の大歓声の中ランディングし、披露宴に華を添えました。 [ 記:名本 亜紀 ]



空からの祝福に皆大喜び。おめでとう。

## JHSC型式登録機

輸入パラグライダー

2002年7月17日の新規登録

PI-848	OZONE	VIBE XS
PI-849	OZONE	VIBE S
PI-850	OZONE	VIBE MS
PI-851	OZONE	VIBE ML
PI-852	OZONE	VIBE L
PI-853	OZONE	VIBE XL

\* 最新情報はJHFホームページ、安全性委員会のページをご覧ください。

# 委員会の動き

## パラグライディング競技委員会

2002年度も天候に恵まれずに、前半が終わろうとしています。今年度開催していただいた大会は、ジャパンリーグで6大会中4大会が不成立、SPS大会が1大会不成立と、大会日程と天候がかみ合っていない状態で、主催者、選手共に欲求不満が高まっているようです。海外に目を転じると、今年は全般的に天候にも恵まれ素晴らしい大会が行われています。

これから秋のシーズンに向けて、日本選手権が岡山県大佐で予定されていますので、多くの選手に参加していただきたいと思えます。

パラグライディング競技委員会は現在、2003年度の日本選手権大会の開催地が決まっていないため、開催していただけるエリアを探しています。また、主催者の皆さんが大会をより運営しやすいようにするため、選手の皆さんがシンプルに大会に参加できるように、ルール内容を見直し調整しています。

夏から秋に向けて素晴らしい大会が行えるよう祈っています。 [記:曾我部 真人]

## ハンググライディング競技委員会

7月11日から21日までアメリカのシェランで開催されていたクラス1女子・クラス2・クラス5のハンググライディング世界選手権が、無事終了しました。応援ありがとうございました。

2003年シーズンからは大会でのGPSの全面運用を予定しています。新しいルールができ次第ホームページにて告知しますのでご注意ください。

今後、当委員会の情報はホームページにてお知らせしますので、よろしくお願ひします。尚、事務局にメールをくだされば、「競技委員会インフォメーション」をお送りします。

HG競技委員会事務局

E-mail:haku@effect-jp.net

http://tomato.saino.ne.jp/haku/JHF-HG.html

[記:日下部 はく]

## 教習検定委員会

パラグライダー教本改訂版を発行

パラグライダー教本の一部を訂正した改訂版が発行になりました。関係省庁の名称変更に伴う訂正や、不適切と思われる解説と説明図を訂正しました。主な訂正項目を紹介します。アドバースヨーやオーバーヘッドアプローチの実施方法について、新しい教本を参考にしてください。

1. ブレーク操作によるロールをアドバースヨーとして解説していた部分の削除
2. 低気圧に吹き込む風の流れを示す図を訂正
3. オーバーヘッドアプローチの説明図を正しいものに訂正
4. 180度サイドアプローチの説明図を訂正

5. その他、訂正箇所約30箇所

現在取り組んでいる業務

現在、教習検定委員会が取り組んでいる主な業務をご紹介します。これらについて皆様のご意見を求めています。JHF事務局あて、多数のご意見をお寄せいただくようお願いいたします。

1. JHFが関係する事業の実施指針
2. パイロット技能証所有者の飛行範囲制限が半径5kmとされていることの是非
3. クロスカントリー技能証の申請料の見直し
4. ハンググライディング技能証に関する学科試験問題の新規作成(A級、B級、C級、P証)
5. 教員更新講習会の実施方法

[記:小野寺 久憲]

## 補助動力委員会

MPG選手権の開催

第6回JHFモーターパラグライディング選手権は、9月28日・29日の両日、茨城県真壁郡関城町で開催する運びになりました。今大会では、一般客に分かりやすいルール解説書の配付や、フルバンド演奏等のジョイントも企画しています。

新技能証の運用

ホームページで既にアナウンスしましたが、MPGパイロット証に引き続き、教員技能証が制定されました。本年11月から補助動力からの移行申請を受け付けます。詳しくはホームページの補助動力委員会のお知らせをご覧ください。

騒音苦情に対する積極的な対応

今年になってMHGで1名、MPG2名の死亡事故がありました。また、残念ながら騒音問題によるクレームもかなりの件数を数えるに至り、選手権以降は集中して騒音対策に取り組むことになりました。具体的な活動は現在検討中ですが、一例として、JHF・FLMを含んだ「指導員」の設置などが挙がっています。 [記:山崎 勇光]

## 制度委員会

未だにたった2名の委員会活動です。ふたりだけの会議なので、電子メールを主体に行っています。制度委員会は定員5名ですので、あと3名の空席があります。全国のフライヤーのために一肌脱ごうという方の応募をお待ちしています。お問い合わせはJHF事務局まで。

現在の制度委員会の活動内容

- 1 総会、理事会、委員会の傍聴についての規程
- 2 JHFの委員会の分類についての研究  
ご意見のある方は.....  
hideaki@try-net.or.jpまで。

[記:小林 秀彰]

## 安全性委員会

7月25日の前委員任期満了に伴い、理事会で選任された新委員(以下の6名)が就任しました。

阿部郁重(委員長)、岩井克紘、岡芳樹、幸路尚文、斎藤紀、下山進

活動開始に先駆け7月10日に委員会を開き、安全性委員会(JHSC)の事業計画を立てました。

1. 基本方針

日本ハンググライディング連盟安全性委員会は、同連盟(JHF)の事業方針に従い他の委員会とも協力して、このスポーツの安全性確保のための事業を推進する。

2. 実施要領

JHFが2002年事業計画の中で最優先課題としている「事故の撲滅」を事業の中心に置き、そのための活動を他の委員会とも協力して積極的に推進する。

事故防止こそ新人フライヤー参入のカギであり、スポーツ人口が増加すれば選手層も厚くなり、JHFは活性化し、このスポーツの普及を促すと考えられる。

3. 緊急実施事項

(1) 現行諸ルール内容及び実施状況をチェックし、改善すべき点があればそれを確定し、実行する。

(2) 事故調査体制を整備、充実させる。  
そのため航空事故調査専門官を中心に研修会を開く。9月18日を予定。(会場、参加者の資格等については検討中。詳細はJHFホームページまたは事務局まで。)

(3) 事務局に事故報告に対処するためのマニュアル作成を依頼する。

4. 当面の安全情報処理要領

事務局内に調査担当者を配置し、安全性にかかわる情報を即座に委員会に伝達。各委員代表者参加の安全性委員会が情報を分析、評価し対応処置を決定する。

また、必要な情報項目を整理し、事務局に収集を要求。海外の事故・安全管理情報を集め翻訳する。情報源は事故報告、公刊資料(雑誌等)、FAI・CIVIL情報(メーリングリストを使用)、会議出席報告、現地視察報告など。

5. 保留中

(検討を要する中・長期的実施事項として) 情報活動をJHF事業の大きな柱とする。

情報活動は「収集(翻訳)」、「分析・評価」、「対応処置」の3段階からなる。

JHFが2002年度に計画している、

(1) 事故の撲滅

(2) 将来像の検討

(3) 普及活動の推進

と照らし合せ、中・長期的な計画を立てる。

[記:幸路 尚文]



左から下山、岡、阿部、斎藤、幸路、岩井各委員

# 理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

## 6月13日理事会

2002年6月13日(木) 13時～17時 場所:JHF事務局会議室 出席:朝日和田、伊賀隆一郎、関谷暢人、瀬戸口裕郎、田中美由喜、長谷川光雄、藤野光一、宮川一郎各理事 欠席:松永文也、宮田富由、横尾和彦各理事、宮川雅博監事(出席理事8名、定足数を満たし成立) 議長:瀬戸口裕郎

### 審議1:MPG教員技能証規程の制定について

JHF技能証体系の整合性から、モーターパラグライディング教員技能証を創設する必要があると、制度委員会から意見が出された。文書理事会の結果、賛成10、反対1、棄権0で原案どおり可決。改めて理事会での審議の結果、賛成6、反対0、棄権1で原案通り可決した。

### 審議2:教習検定委員会からの諮問依頼について

現在の技能証規程によれば、パイロット技能証PGとHG所持者に対し、離陸場所から概ね5km以内とする飛行空域の制限が定められていることについて、いくつかの矛盾が生じていると考えられる。

2 ハンググライディングに関わる学科試験問題の作成と学科試験実施方法についての検討。

3 JHFパラグライディング教本の在庫が少なくなり、教習検定委員会で相当部分の改訂を行う。

以上の3点について諮問依頼があった。文書理事会の結果、賛成10、反対0、棄権1で原案通り可決。改めて理事会で審議の結果、賛成7、反対0、棄権0で原案通り可決した。なお担当理事より口頭で教習検定委員会へ諮問を依頼し、正式には事務局から文書により通知することとなった。

### 審議3:JHF傍聴規程の諮問について

去る3月通常総会において、熊本・神奈川県連より指摘された、総会及び理事会における傍聴についてのJHF傍聴規程の作成について依頼があった。文書理事会の結果、全員一致で原案通り可決した。改めて理事会で審議の結果、全員一致で原案通り可決した。

### 審議4:訴訟代理人委任について

中野弁護士に当連盟訴訟代理人を委任していたが、5月28日に辞任された。このため早急に新しい代理人を選任する必要があり、浅尾美喜子弁護士を後任の代理人として推

薦、採決の結果、賛成6、反対0、棄権1で、原案通り浅尾弁護士を訴訟代理人に選任した。これを受け明日6月総会において、朝日会長から新しい訴訟代理人について報告し、了解を得ることとなった。

### 協議1:JHF安全会議案について

2002・2003年度安全性委員会阿部委員長より、事故防止の為、安全性委員のメンバーだけでなく、広く関係者呼びかけて、安全について考えていくべきとの趣旨で提案があった。これは大変重要なことなので、是非JHF活性化対策案の中で取り組むべきである。よって前向きに検討を続けていくこととなった。

### 協議2:全国レクリエーション大会・スポレクの取組み

6月10日に日本レクリエーション協会から「第56回全国レクリエーション大会INさいたま」及び「スポレク広島

2002」についての参画希望団体募集が届いた。これについて協議の結果、最終的に次の通り総括した。日本レクリエーション協会に対しては、JHFとしては関係する県連が主体となってやりたいと回答する。それぞれの市町村からも働きかけがあると思われるので、県連には積極的に対応するよう伝える。費用は市町村から出ると思うが、JHFとしても、例えば会議に行く交通費とか、その程度の費用はバックアップする。スポレクやレクリエーション大会、全国アウトドアフェスティバル及び国体のデモンストラレーション大会等、対象となる県連は積極的に動くようにして頂きたい。そのことによって国民的なスポーツに近づくようにすべきである。早速、対象となる都道府県連盟にこの資料を打診する事となった。

\*7月は理事会が開催されませんでした。

## JHF 6月通常総会の報告

2002年6月14日(金) 午後1時から5時まで、東京都の羽田空港内ギャラクシーホールにて、6月通常総会が開かれました。正会員47名中40名が出席、3正会員から委任状が提出されました。議長には東京都連盟の日垣昌士氏が選任されました。

### 第1号議案

2001年度事業報告の承認について、関谷常任理事からの内容説明、質疑応答の後、2001年度事業報告の承認について審議。一部訂正のうえ、賛成27、反対10、棄権5で可決承認されました。

### 第2号議案

2001年度決算報告の承認について、朝日会長より議案説明、宮川監事より6月6日に実施された監査報告があり、質疑応答の後採決。賛成39、反対2、棄権1で可決承認されました。

### 第3号議案

2002年度補正予算の決定について、朝日会長より内容説

明。正会員からJHF活性化対策費の予算について、内容を明確にどの意見が出され、条件付き修正で審議。賛成23、反対16、棄権3でJHF活性化対策費が承認され、2002年度補正予算承認について審議。賛成35、反対6、棄権1で承認されました。

### 第4号議案

JHF役員選挙規程の改定について、制度委員会担当の藤野光一理事から一部訂正後、採決。賛成29、反対0、棄権13で可決承認されました。

### 第5号議案

定款第13条3項の変更を求める議案が、神奈川県連理事長の高金仁史氏より上程され、採決。賛成25、反対10、棄権6、無効票1となるが、定款変更は現正会員の3/4の賛成を必要とするため否決されました。

### 第6号議案

選挙管理委員に、内田孝也氏、星野納氏、西ヶ谷一志氏の3名が立候補。各々抱負を述べた後、3名全員が選挙管理委員として選任されました。

## 理 事 活 動 報 告

JHFの理事は、それぞれが担当する事業が滞りなく進行するよう、さまざまな仕事をしている。5月下旬から7月下旬までの活動内容を各理事に報告してもらおう。

### 会長 朝日 和田

JHF活性化対策の特別委員会開催の準備が進行しています。JHF活性化対策とは、JHFのあるべき将来像を検討して結論を見出し、そしてそれを実行する事です。

JHFは将来に渡って存続していかなければなりません。フライヤーは年月と共に入れ替わっていきませんが、JHFは常にフライヤーの代表として本来の役割を担っていける組織でなければなりません。今、そのことを真剣に考える時であると思います。長年の懸案事項をこの1年間で検討を深め、JHFの進むべき道を明らかにしたいと考えています。

#### 1 JHF活性化対策検討内容

- (1) JHFの将来像の検討と改革計画の立案(経営の基本的体制、事業内容、予算のバランス等)
- (2) 都道府県連盟のあり方についての検討(各種推薦事業、JHFよりの事業費、県連の会費、県連の会員、県連の運営等について)
- (3) 安全対策について(事故はフライヤー自身が最大限の力で阻止すべきものであると同時に、JHFの存亡を左右するものである。最も力を込めて対策に努力しなければならぬ。)

### 常任理事 関谷 暢人

#### 6・7月理事活動について

##### (1) 教員研修検定会への参加

毎回、参加者全員が真剣そのものであり、できることなら全員合格させたい。パイロット技能証から助教員、そして教員研修検定会への推薦の段階で、教員の資質を身に付けられるような技能証システムを望みたい。参加者並びに委員会の皆様、ご苦労様でした。

##### (2) 6月総会準備

ここ数年、準備を担当し90%(?)はシステマチックに構築できていると自負している。が、残る10%(?)が「議長」については毎回苦労する。これを読んでいる正会員理事長へ、次回の総会には議長として自薦するぐらゐの気持ちを持ってください。

##### (3) 全国スカイレジャー振興協議会(通称:ジャスパ/JASPA)総会への参加

執行部とも言うべきJAAに、国土交通省、会員である「行政」と「企業」、そしてJHFなどのアドバイザーチーム、総勢約30名ほどが参加し、6月20日、航空会館で開催された。第1号議案「事業報告および収支決算」は、滞りなく進行。今回は通常の年次総会と解散総会を兼ねており、第2号議案「協議会解散について」では活発な質疑応答がなされ、発展的解散として決議された。これまでの残余財産はJAAの中に「JASPA基金(仮称)」を特別会計で設置、スカイレジャー振興のための調査研究や講演・啓蒙出版などに活用されることとなった。

##### (4) スポーツ振興くじ助成金の手続会議への参加

どこの団体も資金繰りに四苦八苦しているのか、200人ぐらい参加していただろうか? サッカーくじtotoの収益の一部が当連盟などに助成金として分配されることになりました。

##### (5) その他活動

委員会調整や訴訟関連など、やる事が次から次へと湧いてくる。これは、ボランティア活動の領域をはるかに越えている。連盟の創世期としては致し方ないのか?

#### 常任理事 長谷川 光雄

##### 2002年度教員検定会に参加して

6月3日より7日までの5日間、筑波八郷地区において教員検定会が行われた。参加者は研修のみの1名を含めPG16名、HG2名の18名であった。

今回特に感じたのはセキュリティ対策が充実していた点である。緊急事態発生時の人員配置及び連絡網の整備、救難救急隊員、救助班及び通信連絡員の配置、救急用品の配備、気象協会より気象情報の入手、消防、警察、町等への連絡など、万一の事故発生時の対策に万全を期して検定会に臨んだことである。また、実技検定で印象に残ったことは、ランディングの際のトラフィックパターン(場周経路)の実施である。これは、ランディングポイントに進入す

る際には、まず規則正しくダウンウインドから進入し、クロスウインド、ファイナルアプローチ、そしてランディングポイントにタッチダウンするという一連の動作である。航空機では昔から行われていたことであるが、PG/HGにも採用されたのは画期的なことである。これを採用することによって、ランディングの際の接触事故などは、ほとんど無くなるのではないかと思う。

救急救命及び応急手当では、アメリカの救急救命士の資格をお持ちのいさお秀彦氏を講師に迎え、非常に実のある講習実体験を行った。特にモデル(扇澤氏、岡田氏)を使った救急実技は真に迫るものがあり、チアノーゼ状態や出血、打撲、骨折などを再現させ、現場で行うのと同様に着衣を鉄で切断するなど、受講者は皆真剣に取り組んでいた。

ツリーランディングからの脱出の体験では、登山家の森鐵彌氏を講師に、実際にタワーの上から下ら下って、より実体験に近い状態で行われ、とても参考になった。また、スピン状態からのレスキューパラシュートの開傘等、参加者各自がそれぞれ体験して、今後の教習に大いに役立つものと思う。

尚、講習内容は、1 気象学、2 応急手当、3 航空力学、4 安全対策、5 ツリーラン脱出、6 レスキュー開傘、7 教育学。検定内容は、1 フライット実技、2 グランドハンドリング、3 教習実技、4 学科検定であった。

最後に、5日間にわたる教員検定会を通じて、参加された助教員は勿論のこと、検定員、講師、陰で支えてくださったスタッフ、すべての皆様の検定会に対する真摯な姿に感銘を受けた。

#### 理事 藤野 光一

制度委員会、選挙管理委員会のみなさんの努力により、選挙制度の改善案が6月総会に上程され、会員のみなさんに承認を頂く事が出来ました。ありがとうございます。また、JHF制度総覧のCD-ROM化作業も完了し、総会の場で配布することが出来ました。

# @sky

空の情報いろいろありのページ、その名もアット・スカイ。  
いつでも心は空の彼方というあなた、必読！  
もちろん寄稿も大歓迎。  
「お題はなあに？」や「大会報告」、エリア紹介、フライト自慢、  
JHFへの意見など、どしどし送ってください。  
koho@jhf.skysports.or.jp FAX.03-5840-8312

## タメにならない航空史 - 9

### 麗しの熱風

矢ヶ崎弘志

このところ不細工な機体や珍奇な機体の話ばかりが続いてしまったから、今回は美しい機体を取り上げることにしよう。口直しというわけだ。

といっても、単に姿が美しいだけじゃ話題にする価値は無い。それなりの物語つまり大空のロマンを持った機体であることが条件だ。となれば、コードロン・シムーン(1934年、フランス)の番番であろう。

シムーンは4人乗りの低翼機で、優美なデザインから空のマドモアゼルなどと呼ばれていた。しかも、高性能機。エンジンは180hp~220hpながら、空力的に洗練された外形によって最大速度は310km/hにおよんでいる。この数字は現在の軽飛行機に較べても全く引けをとらない。やはり、美しい外形は性能向上にも役立つのである。

そして、いくつかのロマンも生んでいる。その第一は作家サン=テグジュペリの愛機だったことだ。サン=テグジュペリの伝記を開けば、たいてい彼がクラッシュした飛行機にもたれ掛っている写真が掲載されている。この壊れた機体がシムーンなのである。

1935年12月、自家用機のシムーンでパリ~サイゴン(現・ホーチミン)間の長距離レースに参加したサン=テグジュペリは、悪



リビア砂漠にクラッシュしたシムーンとサン=テグジュペリ。

空のマドモアゼル、コードロン・シムーン。



天候に阻まれてリビア砂漠にクラッシュし、3日間歩き通して生還した。有名な「星の王子様」は、このときの経験が基になっているそうだから、シムーンは名作が書かれる端緒を作ったといえるだろう。シムーン(Simoun)とは砂漠に吹く強烈な熱風の呼名だから、それが砂漠へクラッシュしたとは、単なる偶然ながら場所と機名の取り合わせが奇妙に一致している。

サン=テグジュペリとシムーンとの関係はまだ続く。彼は新しいシムーンを買入れて、1938年に再びニューヨーク~プンタアレナス(チリ)間の長距離レースに挑んだのだ。しかし、この飛行もツイていなかった。経由地のグアテマラで離陸に失敗し機体は大破、サン=テグジュペリも重傷を負ったのである。これが、彼のアドヴェンチャー・フライトの最後となった。

次は日本との縁である。パリ~東京間を100時間以内で飛び計画にシムーンが使われ、2度にわたり日本に飛来しているのだ。

1回目は1936年11月のこと。アンドレ・ジャビというパイロットが単独で操縦し、ハノイ、香港経由で福岡に到着、終着地の東京へ向かったが、佐賀県の背振山で雪嵐に遭い墜落、ジャビは重傷を負った。

2回目は1937年5月。名パイロットとして知られたマルセル・ドレが機関士のフランソワ・ミケロッチと組んで飛来したが、これも福岡から東京へ向かう途中で悪天候に阻まれ、SOSを発しながら高知県の海岸に不時着し転覆大破してしまった。

このころ、3機目のシムーンが東京への飛行を準備中だったが、フランス航空省は出発直前に中止を命令した。リスクが大きすぎるとの判断だったのだろう。こうしてパリ~東京間100時間飛行の夢は消え、3機目のシムーンが日本の空に姿を見せることはなかった。14,000kmもの距離を飛行して来たのに、目的地の直前で挫折したジャビやドレもさぞ無念だったことだろう。ドレ

が救援にやってきた人々に「東京まではあと何キロ?」と叫びつづけたというエピソードに、その気持が現れている。

1937年4月つまりドレ機が飛来する1ヶ月ほど前、飯沼正明と塚越賢爾が乗る朝日新聞社の「神風」が東京~ロンドン間を94時間(実飛行時間51時間)で飛び、100時間以内での欧亜連絡飛行を達成した。ロンドン到着の後パリへ飛んだ飯沼、塚越両飛行士は、多忙なスケジュールの合間に、日本で傷の治療を受け全快し帰国していたジャビを自宅に訪ね、半日ほど歓談している。このときジャビは、入院先の病院で医師たちが高度の医療を施してくれたことに感謝し、もう一度日本に飛んでいきたいと語ったが、この希望は間もなく始まった第二次世界大戦のため実現しなかった。

以下は後日談である。

美しいシムーンを2機も大破させてしまったサン=テグジュペリは、1943年にロッキードF-5偵察機P-38戦闘機の写真偵察機型)で出撃したまま未帰還となったのは、ご存知のとおり。彼の乗機は今から10年ほど前に地中海で発見されたが、遺族の意向で引き揚げはされず、遺体は乗機とともに海底で眠り続けている。

アンドレ・ジャビは、第二次世界大戦後タヒチに移り住み、離島空路を開拓するため島々に滑走路を作ったり、自ら操縦桿を握っての海難救助飛行など幅広い分野での航空活動をする一方、自然保護運動にも力を注ぎ、1974年に歿した。

なお、背振山でクラッシュしたジャビ機は、方向舵だけが無傷で残り、長い間佐藤博博士(元・九州大学航空工学科教授)が保管していた。現在は(財)日本航空協会が管理にあたり、東京の新橋にある航空会館1階のエレベーターホールに展示している。日本は戦前の航空文化財の多くを失ってしまったから、この展示はいろいろな意味で貴重である。

# JHFホームページ 見なきゃ損!!

リニューアルしたJHFのホームページ、もう見ましたか。少し前まで情報が古いだの、見にくいだの言われていましたが、ガラリと変わりました。詳しくは実際に見てもらおうとして、サラッと紹介しましょう。「うちではホームページを見られない」という方も、スクールやショップなどでぜひ見てください。

全メニューを見よう!

はい、右上の画像をご覧ください。コレが新装の表紙です。メニューがグッとわかりやすくなりました。

「Topics」には、新着情報をはじめハング・パラグライディングのいろいろな情報(硬いものから柔らかいものまで)が載っています。

「スカイスポーツを始めよう!」は、まだ飛んだことのない人のためのページ。ハング&パラのQ&Aや歴史、JHFの紹介、技能証の説明など。

イベントや大会、検定会などの予定を知りたい人は「カレンダー」をチェック。ハング&パラだけでなく、他のスカイスポーツのスケジュールも調べられます。

「エリア一覧」は、日本全国のフライトエ

リア情報を掲載。(自然条件による一時的クローズなどもあるので、飛びに行く前に詳細を各エリアに確認すること。)

「スクール情報」は、JHFの登録校が載っています。(スクールのホームページにリンクしているので、講習費などの詳細はそちらで。)

「教員・パイロットリスト」は読んで字のごとし。パイロット証を取り立ての人、自分の名前を感慨深く(?)見てください。もちろん名前以外の個人情報は載っていません。

「事務局からのお知らせ」もよく見てください。みんなのフライトをサポートする縁の下の力持ち、JHF事務局からの情報です。

「常設委員会」には、JHFの常設委員会のうちHG競技委員会、PG競技委員会、補助動力委員会、安全性委員会のホームページがあります。

「都道府県連盟」は、各都道府県のハング&パラ連盟(JHFの正会員)リストです。スクールでフライト体験するだけでなく、本格的に飛ばうと思ったら、ぜひ最寄りの都道府県連盟に参加を。

ウェブマガジンもスタート!

表紙で気になるのが「JHF e-mag」の文字。隔週発行のウェブマガジンです。JHF



レポートの『タメにならない航空史』でお馴染み、矢ヶ崎弘志さんのエッセイもあります。お見逃しなく。

まだスタートしたばかりで、発展途上。こんなネタが欲しいというリクエストは、JHF広報出版部にメールで。(要望によってはできるかどうかは、わからないけれど.....)

住所変更届けもOK!

フライヤー会員登録情報、名前、住所、電話番号の変更届けが、ウェブ上でできるようになりました。「事務局からのお知らせ」をクリックしてください。これなら事務局があいていない時間帯でも大丈夫。ぜひご利用を。

JHFホームページURL  
<http://jhf.skysports.or.jp/>  
 JHF広報出版部メールアドレス  
[koho@jhf.skysports.or.jp](mailto:koho@jhf.skysports.or.jp)

## そしてチャレンジは続く

### 鳥人間コンテスト 選手権大会レポート

山本 貢

今年も琵琶湖の暑い夏がやってきました。ということで、今年も昨年に引き続き、私、山本が鳥人間をレポートして参りました。

まずは、昨年より始まった人力ヘリコプター部門。今年も各チームさまざまな工夫を凝らした機体で参加。その中で、優勝したのは昨年と同じ「東大阪青年会議所トライアルズ」。しかし、ホバーリングというよりはローターが空中分解後、グライドにはいったという方が正確な少々お粗末なもの。

前から気になっていたが、このクラス。固定のローターをまわしながらプラット



人力プロペラ部門優勝、東京工業大学Meister。

フォームから投げ出せば、向かい風の発生で揚力のアンバランスが生じてしまい、自然の摂理で必ずノーズが上がり、次はバックしてしまう。つまり、プラットフォームにぶつかってしまうのが当たり前であり、安全性に問題があるのではないだろうか。今回はそんなことが気になった。

次は人力プロペラ部門。ほとんどが大学と素人が占めるようになってしまったが、これらのチームの中で、最長距離を飛んだのは、これまた昨年と同じ「東京工業大学 Meister」。とても美しく出来た機体で6201mを飛行。優勝を決めた。しかし、今回私にとっては芝浦工業大学が、初めてタンデム、つまり、二人乗りで見事にフライトを決めたことが印象的だった。タンデムは絶対重量は大きくなるものの、パワーウエイトレシオでは有利という考え方も出来る。この考えのもと、このチームはかたくなにタンデムにこだわっていた。とりえず今回の結果はタンデム人力機の可能性を証明してくれたということ。彼らを評価すべきだと思う。

そして滑空機部門。これもまた昨年と同じ「みたか+もばらアドベンチャーチーム」が優勝。昨年の機体を改良したということだが、とにかく仕上がりがとても美しい。まさに非



滑空機部門優勝、みたか+もばらアドベンチャーチーム。

のうちどころがない仕上がり。細かな砂がのっかって気持ちになってしまうほどの美しい翼表面は、層流翼型の性能をフルに発揮してしまいそうだ。

しんがりのテイクオフとなってしまったこのチーム。たまたま私はこのチームと知り合いだったので、ずっと話をしていたが、テイクオフ前も「いや、今までの一番は360mだし、この機体は無風で450m飛ぶから優勝でしょ」と余裕の様子。その宣言どおり2mのアゲインストの中を414mもフライト。あっさりと勝ってしまった。しかし、アゲインストで約46秒間のフライトは、平均1mのアゲインストと考えると46m押し戻されたことになり、もし無風だったら460m飛んでいたことになってしまう。テイクオフ前の450m宣言がまったく現実味を帯びたものとして思える。まさに空恐ろしいチームだ。だがこのチーム。まだまだ自分たちの力が発揮されていないことを知っている限り、じっさいに450m飛ぶまでは、おそらくそのチャレンジを続けていこう。



# カレンダー

〔場〕は開催地、〔連〕は連絡先です。予定は変更になる場合がありますので、お出かけの際は事前に必ずご確認ください。

9月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
16 振替休日 秋分の日 23 30	24	25	26	27	28	29

10月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

梅池ジャパンカップ2002(PG)  
8月24日・25日 〔場〕長野県小谷村梅池高原  
〔連〕実行委員会 TEL.0261-83-2521

第7回全日本学生  
パラグライディング選手権  
8月27日～29日 〔場〕宮崎県東臼杵郡鏡山  
〔連〕実行委員会 江口隆浩  
TEL.090-9599-5366  
第17回十ノ瀬山ハンググライダー大会  
かもしかカップ  
8月31日・9月1日 〔場〕秋田県北秋田郡田代町  
〔連〕秋田県ハング・パラグライディング連盟  
代表 小松園悦 TEL.0186-54-0015  
栃木県パラグライディング助教員検定会  
8月31日9時～18時 〔場〕栃木県赤岩山  
〔連〕栃木県連盟事務局 TEL.0287-64-4779  
ハンググライディングプレ日選 in Ashio  
9月20日～23日 〔場〕茨城県新治郡八郷足尾山  
〔連〕SET茨城スカイスポーツスクール

中島栄一 TEL.0299-43-0893  
japan cup スキージャム勝山2002(PG)  
9月21日～23日 〔場〕福井県勝山市スキージャム勝山  
〔連〕実行委員会 TEL.0779-87-6311  
第17回管平カップ(PG)  
9月28日・29日 〔場〕長野県須坂市  
〔連〕ジオスポーツ(株)TEL.03-3886-7427  
2002年パラグライディング日本選手権  
in おおさ  
10月10日～14日 〔場〕岡山県阿哲郡大佐町  
〔連〕実行委員会 TEL.0867-98-3400  
新潟県知事杯争奪  
尾神岳スカイグランプリ(PG)  
10月26日～27日 〔場〕新潟県中頸城郡吉川町  
〔連〕実行委員会 TEL.0255-48-2311  
最新情報はJHFホームページで。

## 極貧生活

パラを始めたばかりの頃、とにかく飛ぶのが楽しくて、週の半分は山にいた私。そんな私にパラが飛びの楽しさと共に体験させてくれた事、それは激貧生活！ ある日、昼食を買うお金のない私は友達に30円のパンの耳をおごってもらいました。ラッキーってパンの耳を食べる私に周囲の目が.....「教科書食べてるのかと思った」パンの耳くらい、いつでもおごってやるよ」など様々な言葉をかけられ、二度とパンの耳には手を出さないと心に決めました。が...最近また.....  
ペンネーム:空飛美人

## かしこくなった？

空を飛ぶようになって、一番気にするようになったのは、もちろん天気だ。以前は降水確率や最高気温ぐらいしか見ていなかったのに、今では気象予報士しか見ないんじゃないか？ ぐらいのマニアックなデータを、パソコンと見つめ合いながら明日の風向きやコンディションを予想している。これも飛んでるおかげ？ (ある意味飛んじゃってるかも...) ペンネーム:アゴ

## 世界で...

飛ぶようになってから本当に色んなところに行くようになった。日本中は勿論のこと、世界へも。観光目的では決して行かないであろう場所だ。パラをしていなかったら、きっとこんなにも旅はしていなかった。そして行く先々で仲間ができる。ある時、スイスとフランス、ドイツのフライヤーとお互いの国について話していた。文化の違いに色んな国があるものだと思っていたら一人がこう言った。

"But, the sky is one."

まだ見ぬ世界がいつも飛んでいる空とつながっているかと思うと、またグライダーを背負って旅がしたくなる。

ペンネーム:風來坊

## 熱すぎた学生フライヤー

飛んでいてよかった事？ 充実した学生生活が人より多く、卒業が遅れたことかな...。お父さん、お母さんごめんなさい！  
ペンネーム:やっぱり空がすき

## 夢飛び

飛び始める前は、夢の中で空を飛ぶ時は平泳ぎだった。電線をかいくぐり必死に手足で漕ぐ。漕ぐのを止めるとどンドン落ちていく。特に大変なのがテイクオフ。ものすごい勢いで漕がないと飛び上がらない。いくら夢だといっても結構つかれる。最近はずっとランディング付近を飛んで、帰りを待ってみたい。今の目標はダーリンと二人でクロカンに出る事！ ただ、困る事が一つ。必ずダーリンがテイクオフした後にテイクオフしなければならない事。私のテイクオフを見ていると、とても心配になってしまうのだそうです.....  
ペンネーム:恋する乙女

# お題はなあに？

今回のお題は「飛んで、よかったあ」  
気象変化に敏感に反応、世界を感じ、  
パンの耳を味わう幸せ(?)を手に。

パラの姿勢。結構楽チン。サーマルが都合よくあるのも最高。目がさめて汗びっしょりにならなくなってよかったかな。

ペンネーム:夢見心地

## ダーリン？

飛んでて良かった事、それはやはり愛するダーリンに出会えた事です。

私は目が悪いのですが、少し遠くのトンビは見えなくても、愛するダーリンだけはどんなに遠くにいても、すぐに見つけることができます。愛するダーリンと一緒に飛ぶために上級機に乗ってみたい、ダーリンがどこか遠くへ行ってしまったために、

スカイスポーツの効用  
数年前にサークル勧誘をしていた時だった。遠くに見えた黒い雲が、気が付いたらかなり迫ってきていた。風も変わり始めていた。僕たちは早々に切り上げて、ビデオやらポスターを教室に運び込んだ。数分後突風とともに激しい雨が、他のサークルの人たちが慌てふためいている時、向かい側の教室にやはり早々に避難していたサークルがあった。グライダー部であった。「やっぱり分かったよね？」的な笑みをお互いに交わしあったのだった...っていうのは、飛んでてよかった事の一つだと思う...ことにする。  
ペンネーム:勧誘前線異常なし

## 次回のお題は「飛ぶときの儀式」

必ず右足から走り出してテイクオフするとか、呪文を唱えるとか.....あなたが密かに行っている「儀式」と、そのココロを教えてください。  
このコーナーでは、お題にそった皆さんの体験談をお待ちしています。笑える話、ホロリとくる話、ビックリする話、大歓迎。200字程度の文章にして、EメールまたはFAXでお送りください。ペンネーム、氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスを忘れずに書き添えてください。作品採用の方には、図書券をプレゼントします。  
Eメール:koho@jhf.skysports.or.jp  
FAX:03-5840-8312  
「JHFレポートお題はなあに?係」まで。

# 大会報告



サザンセット2002

サマーミーティング・イン・オオシマ

2002年5月25日・26日

山口県

ハンググライダー

[エキスパートクラス]

- 1位 藤沢 勇一 茨城県  
2位 金子 秀義  
3位 近藤 俊博

[レディース]

- 1位 持田 孝子 福岡県  
パラグライダー

[エキスパートクラス]

- 1位 松岡 茂 山口県  
2位 松岡 清  
3位 彌益 良生

[オープンクラス]

- 1位 近藤 孝子 山口県  
2位 谷上由香里  
2位 大本 勝也

[レディース]

- 1位 御手洗美智子 山口県

[タンデム]

- 1位 松岡 清 山口県

5月下旬、恒例のサマーミーティング・イン・オオシマ大会が開催された。ハングが19回目、パラが14回目になるこの大会は、最近注目を集めている「アクロパチック」を行っ

ていた、国内でも歴史ある大会である。25日は、朝から南西の風が強く、パラはキャンセル、ハングも先着のポイント加算でオープンした。26日は、あまりゲインはしないものの、まずまずのコンディションで、パラ、ハングとも成立した。 [記:江本 俊信]



2002年パラグライダー尾神カップ

2002年6月1日・2日

新潟県中頸郡吉川町 尾神岳エリア

[総合]

- 1位 伊澤 光 1950点  
2位 薮 哲行 1761点  
3位 川口 竜太 1675点  
4位 吉川 正雄 1463点  
5位 大澤 行英 1383点  
6位 山下 慎吾 1381点  
7位 西野 智博 1373点  
8位 後藤 雄大 1366点

[女子]

- 1位 水沼 典子 1246点  
2位 和田 有加 960点  
3位 鈴木裕美子 562点

尾神の大会は久しぶりに2日間成立の大会となった。1日目、天気は朝から快晴で好条件が見込め、30kmのタスクを組んだが思ったよりも条件が渋く、ゴールしたのは2人だけだった。2日目は朝から風が強め

## スカイスポーツシンポジウム 講演者募集

2002年12月7日・8日に東京都の航空会館で開催される「スカイスポーツシンポジウム」で講演しませんか。

このシンポジウムは、(社)日本航空宇宙学会主催、(財)日本航空協会共催で、「スカイスポーツ研究者と愛好者の交流ネットワークの拡充、将来のコミュニティのコアの育成を図る」ことを目的としています。講演は学術的なものばかりでなく、技術的、経験的、知識的、解説的なものも。

講演の申し込み・問い合わせは以下。

〒105-0004東京都港区新橋1-18-2

(社)日本航空宇宙学会

スカイスポーツシンポジウム係

TEL.03-3501-0463 FAX.03-3501-0464

http://www.jsass.or.jp

シンポジウムには誰でも参加できます。参加登録料は、一般1000円、大学生500円、高校生以下無料。予約不要。

だったため、風が落ちるのを待って、午後から20kmのタスクを組んで競技を行った。遅い時間まで条件が良く大勢の選手がゴールできた。2日間ともサーマル条件は渋かったものの怪我や空中接触などの事故もなく大勢の参加者が楽しめる大会となった。

[記:清 貞雄]

## 学連だよ!全員集合!!

皆さん、こんにちは。学連のコーナーです。暑い日が続いてますが、毎日元気に飛び続けてますか? グラサン焼けでパンダになった人、大会に勝って、賞品を大量にいただいた人、逆に負けて坊主になってしまった人、いろーんな人がいると思います。学生の夏はまだまだ続きますよ~。

さてさて、今回の特集はこの夏みんなにぜひ活用してほしい、HPについてと東北学連の紹介の二本立てでお送りいたします。

HPについて

夏休み真っただ中の今、毎週のように大会や合宿が行われ「あれ、今、自分は何位なんだろー」「ライバルのあいつの成績が知れたー!」「そんな事を思っているあなた!」「この前の大会で出会ったあの子とちょっと仲良くなりたくない!」「次の大会はどこで何があるんだろー、なんて思っているあなた!」HG学生リーグ、またはGリーグHP、学生連盟HPを今すぐチェックしましょう。それぞれのHPは相互にリンクしますので、行き来しやすくなっています。HPにはスケジュール、掲示板、加盟大学リンク集などがあり、リーグHPには大会速報のコーナーも設けています。大会結果についてはどんどん新しい情

報を載せていくので、常に最新情報入手できます。自分が参加できなかった大会の結果というものは意外に気になるものですよね。そんな人のためのコーナーです。スケジュールは日程だけでなく、主催者の連絡先、大会要項、エントリー用紙等も入手できるので、ぜひ活用してください。

また今年からGリーグをスタートさせました。そこで、疑問点、改善した方がいい点など、たくさんあると思います。大会の感想なども含め、掲示板を利用してできるだけ多くの人の意見も聞けたらと思っています。各リーグのHPは下のアドレスです。

HG学生リーグHP

http://jhfskysports.or.jp/HG/Student/

GリーグHP

http://tomato.saino.ne.jp/haku/pg

\_student/

ぜひ活用してください。

東北学連

はい!東北学連の紹介です。

私たち東北学連は弘前大学、山形大学、東北大学、会津大学を中心に活動しています。最近では、新一年生も加わって、ますますエリアが賑やかになってきていますヨ。東北

ではなかなか冬は飛べないけれど、その分、夏にかけるとエネルギーは最大級!毎日空を見上げながら授業を受けている今日この頃。そんな東北学連がみんな集結して大盛り上がり合宿します。

日程:9月23日~9月25日

場所:山形県 十分一山

ミニ大会なども考えているのでぜひ遊びに来てほしいです。今年からGリーグ(パラリーグ)が始まりますネ。お客様がたくさんのお客感がたたく予感。うーん考えただけで楽しいぞ。ますます準備に力が入ります。青森名物りんごJUICE!おいしいお酒。赤湯ラーメン。そしてパラ大好きゆかいな仲間達をたくさん用意してますよ。一緒に飛んで食べて騒いで楽しみましょう。

学連への連絡は.....

「学連に加盟したい!」「もっと詳しく学連のことを教えて欲しい!」やその他学連への応援・苦情などは下記まで。

岡崎勢津子(日本大学4年)

Eメール:jsff2002@hotmail.com

学連HP http://www.geocities.co.jp/

Outdoors/2273/



空のかお  
その45

佐藤 英人さん  
(サトウ ヒデト)



奥さんの「パラグライダーの体験会に行ってみない?」との一言がパラを始めるきっかけとなった佐藤さん。パラと出会って2年半、今では毎週末、岩手県の遠野が室根まで飛びに行っているそうです。でも、どんなに飛びに熱くても、子供の行事があったらそっちを優先するなど、家族サービスは決して忘れない良いお父さんの一面もあります(写真を見てわかります)。

6月にパイロット証を取り、年に数度、クロカン時期の日曜日に現れる巨大な伝説のクラウドストリート『ビッグサンデー』に乗れるようになることが、これからの目標です!と語ってくれました。

ビッグサンデーに乗って素晴らしいフライトができるよう、これからも頑張って練習してくださいね!

連絡ノート  
JHF  
フライヤー

HPで名前・住所の変更届け  
JHFのホームページから、お名前や住所の変更届けができるようになりました。  
アクセスは、トップページから 事務局からのお知らせ フライヤー会員登録変更届け で、フライヤー会員登録情報の変更届けの入力画面になります。  
ホームページでの変更ができない方は、事務局にご連絡ください。間違いを避ける

ため、ご連絡はできるだけファクスまたは電子メールでお願いします。

フライヤー会員証が届かない場合

フライヤー登録の更新の際、会費振込をして2週間以内にお手元に会員証が郵送されない場合は、お早めに事務局にご連絡ください。

技能証申請の際は.....

技能証申請の際、既得技能証のコピー添付の必要はなくなりましたが、必ず、申請書に既得技能証の取得年月日を記入してください。

JHF事務局

TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312  
(電話は月～金曜日の9:30～17:30に)  
E-mail:jhf@skysports.or.jp

6月・7月のパイロット証取得者

(敬称略 数字は認定日)

パラグライディング

6/4 貝和 英雄	6/20 内藤 功雄	7/2 篠原 一朗
6/6 足立 勝	6/20 柴田 寛昌	7/2 花崎 繁之
6/10 間瀬 裕司	6/21 渡邊 晃	7/2 二宮 啓一
6/10 田島恒太郎	6/21 牧野 三義	7/3 中村 幸子
6/10 近藤 正一	6/21 池袋 恒明	7/3 藤原 元
6/10 野口 芳樹	6/21 金子 静	7/3 沼澤 和男
6/10 御子貝淳子	6/21 塚田 和男	7/3 酒井 進一
6/10 山下 直人	6/25 竜 健一	7/3 西川 文人
6/10 山本 昭夫	6/25 石川 美江	7/3 田路 雅敏
6/10 小林 信夫	6/25 松田 茂雄	7/3 大澤 充彦
6/11 鈴木 彰	6/25 佐藤佳奈枝	7/3 吉田 光政
6/12 安倍 泰	6/25 工藤亜紀子	7/3 岸本 浩志
6/17 西田 和弘	6/25 吉田 義美	7/5 熊副孝二郎
6/17 佐藤 英人	6/25 菅原早和子	7/5 塩原 美穂
6/19 田中 睦美	6/28 小野 禮二	7/5 田辺 拓道
6/19 首藤 忠昭	6/28 伊藤 健光	7/5 笹川 伸一
6/19 二宮 伸悦	6/28 高橋 勇幸	7/5 松崎 浩治
6/19 安藝 晋一	7/2 高杉 祥子	7/10 仲田 功

ハングライディング

7/23 伊藤 美果	6/12 永井 洋平
7/24 殿塚 裕紀	6/12 鈴木 由路
7/26 峯田 稔	6/19 日高登志夫
7/26 須藤 輝芳	6/19 大田黒俊一
7/30 都留 誠司	7/3 遠藤 峰
7/30 中澤 真吾	7/3 平中雄一郎
	7/10 海野 明
	7/12 平木 啓子
	7/18 松丸良太郎
	7/23 黒部 克典

JHF登録スクール 連絡先等変更のお知らせ

No.016 白馬ポップ・パラグライダーズスクール(PG)  
住所変更 〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城3020-1  
E-mail変更 hosc@nifty.com  
No.064 ロールアウトパラグライダーズスクール(PG)  
URL変更 http://www.rollout.jp/  
No.065 会津高原パラグライダーズスクール(PG)  
名称変更 会津高原レジャーサービス  
URL変更 http://aizukougen.com  
E-mail変更 shimomura@aizukougen.com  
No.067 スカイトライアル(HG/PG/MHG/MPG)  
URL変更 http://oraga.net/skytrial/  
No.069 JMB富士見パラノマパラグライダーズスクール(PG)  
住所追加 「長野県諏訪郡富士見町富士見6667-717」のあとに、「富士見パラノマスキー場」を付け加える。

No.071 黒姫高原AFCパラグライダーズスクール(PG)  
名称変更 AFCパラグライダーズスクール(アルペン・フライヤーズ・クラブ)  
No.075 Y.S.C箱根パラグライダーズスクールPG PG/MPG  
E-mail変更 khpf5391@m12.alpha-net.ne.jp  
No.077 ESD PGスクール(PG)  
URL変更 http://homepage1.nifty.com/ESD/  
No.079 榛名町パラグライダーズスクールPG PG/MPG  
電話番号変更 027-374-4252  
No.081 S.E.T.三陸PGスクール(PG)  
電話番号変更 0192-44-3711(遊YOU亭内)  
E-mail変更 fellma.PG@docomo.ne.jp  
No.083 S.E.T.富山牛岳パラグライダーズスクール(PG)  
URL変更 http://www.geocities.jp/Athlete-Sparta/5089/

7月31日までのフライヤー会員登録数

登録年数	5月31日現在の有効登録数	6月の登録数	7月の登録数	7月31日現在の有効登録数
1年		664	746	
3年		342	498	
合計	18,498	1,006	1,244	18,569

6月・7月の技能証発行数

技能証種類	ハングライディング			技能証種類	パラグライディング		
	6月の発行数	7月の発行数	7月31日までの発行数累計		6月の発行数	7月の発行数	7月31日までの発行数累計
P証	4(0)	6(1)	4,999	P証	35(7)	43(9)	19,876
C証	9(3)	1(3)	7,053	NP証	46(9)	72(14)	10,721
B証	5(1)	6(2)	11,744	B証	70(18)	7100(24)	42,510
A証	5(2)	4(0)	12,169	A証	83(24)	104(19)	47,117
補助動力証	0	0	129	補助動力証	2(2)	0	2952
XC証	0	4(0)	1,188	XC証	19(1)	19(5)	4,106
タンデム証	0	1(0)	48	タンデム証		8(0)	720
モーターパラグライディング							
	P証	7(3)	1(0)			8	

\* ( )内の数字は発行数中の女性の人数です。

編集を終えて

暑さ厳しい夏、休暇はフライトツアー、それとも家族サービスでしたか。これから夏休みという方、くれぐれも事故に気を付けて楽しいフライトを。お出かけ前の情報集めには、JHFのホームページもご覧ください。 JHF広報出版部

JHF ホームページもご覧ください。  
<http://jhf.skysports.or.jp/>

JHFレポート9・10月号(No.173)

発行日 2002年8月20日 定価10円  
発行 (社)日本ハンググライディング連盟  
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11  
春日Shimaビル8階  
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312  
E-mail:jhf@skysports.or.jp  
編集 JHF事務局広報出版部  
印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。